

2024（令和6）年度 自己評価報告書

秋田ヘアビューティカレッジ

I 重点目標

- ① 現在の施設設備においては、引き続き緊急度・重要度の高いものを計画的に修繕、補修または改修を行う。
- ② 中長期的な財務基盤を安定させるために入学者数を確保する。
- ③ 学校医の選任を含め運営組織の強化を図る。
- ④ 職員間の情報共有を密にして新任教員 2 名のサポート・組織強化を図る。
- ⑤ 魅力ある学校づくりのための各施策実施

Ⅱ 自己評価項目の設定と自己評価結果（評価項目の達成及び取組状況）

（適切… 4、ほぼ適切… 3、やや不適切… 2、不適切… 1）

1. 教育理念・目的・育成人材像

評価項目		評価
1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
2	学生・保護者（保証人）・教職員・学外の方に対して教育理念等を周知しているか	4
3	社会や関連業界のニーズを踏まえた学校の将来構想を描いているか	4
現状分析・課題		
・（1-1, 1-2）教育機関として教育理念・教育目的・育成人材像を定め、学生・関係業界・保護者等に対して周知している。 ・（1-3）職業教育機関として専攻分野（美容）の業界ニーズを踏まえるとともに、高等教育機関である専修学校として、社会のニーズを的確に把握した将来構想を抱く必要がある。		
改善策		
・学校案内やホームページの更新時にも怠らずに、教育理念、教育目的、育成人材像及び特色の適切な周知を継続する。 ・今年度設立された同窓会に積極的に参加し、同窓会員からの意見を聴くことで学校の将来構想の一助とする。		

2. 学校運営

評価項目		評価
1	運営方針は教育理念等に沿ったものになっているか	4
2	事業計画を作成し、執行しているか	4
3	運営組織や意思決定機関は効率的なものになっているか	3
4	資格・要件を備えた教員を確保しているか	4
5	授業評価の実施・評価体制はあるか	4
6	職員の能力開発のための研修等が行われているか	4
7	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4
8	人事・給与に関する制度を確立しているか	4
9	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4
現状分析・課題		
・(2-1, 2-2) 毎年度、運営方針を事業計画書として策定し、執行結果を事業報告書にまとめて公開している。 ・(2-3) 法人及び学校の運営組織を組織図に示し、校長以下各担当主任を配置している。 ・(2-4) カリキュラムに対して、資格・要件を備えた教員を確保している。 ・(2-5) 年度末に授業評価を実施している。 ・(2-6, 2-7) 内外の研修により職務の遂行に必要な教職員の能力及び資質等の向上を図っている。 ・(2-8) 360° 評価の実施。 ・(2-9) アクセスファイル共有システムを導入して運用している。		
改善策		
・授業評価アンケートを1年生にも実施する。		

3. 教育活動

評価項目		評価
1	教育理念、教育目的及び育成人材像に沿った教育課程を編成・実施しているか	4
2	各学科の教育目標、育成人材像に向けて、体系的なカリキュラム作成などの取組がなされているか	4
3	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
5	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられ、その内容、評価法などが事前に決められているか	4
6	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
7	職業教育に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
8	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
現状分析・課題		
・(3-1～3-5, 3-7) 美容分野における実践的な職業教育の視点に立ち、教育課程編成委員会の意見を取り入れ、カリキュラムや教育方法の改善を図っている。 ・(3-4) 今年度、新たなキャリア教育の位置づけとして選択コース事業を実施している。 ・(3-6) 成績評価、単位認定、卒業判定の基準を学則に定めている。 ・(3-8) 各資格を体系的に取得できるようにカリキュラムを編成している。		
改善策		
・実務実習についての意見を今後も参考に適切な実施に取り組む ・選択コースも継続して実施。		

4. 学修成果

評価項目		評価
1	各学科の教育目標、育成人材像に向けてその達成への取り組みと評価がされているか	4
2	就職率の向上が図られているか	4
3	資格・免許取得率の向上が図られているか	4
4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4
現状分析・課題		
・(4-1) 成績評価、単位認定、卒業判定の基準を学則に定めている。 ・(4-2) 令和6年度卒業生実績 96.9% (33名中 32名決定) 1名は国試後面接予定 ・(4-3) 国家試験合格率は、全国平均を上回っている。		
改善策		
・国家試験の合格率は現状に満足せず、100%を達成するために、前回結果を振り返り次回に活かす。		

5. 学生支援

評価項目		評価
1	就職・進学指導に関する支援体制は整備され、有効に機能しているか	4
2	学生相談に関する体制は整備されているか	4
3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
5	学生の生活環境への支援は行われているか	4
6	退学率の低減が図られているか	4
7	保護者・保証人と適切に連携しているか	4
8	卒業生への支援体制を整備しているか	4
現状分析・課題		
・(5-1) 就職活動における面接前には、個別で面接対策の指導を行っている。 ・(5-2) 全学生と定期的な個別面談を行っている（年間3回）。 ・(5-3) 学生に対する経済的な支援体制は整備されている。 継続→入学金免除制度、特待生制度（授業料減免）、学納金分割納入制度（無利子） ひとり暮らしサポート制度（県内外）、秋ビバサポート 拡充→ひとり暮らし家賃補助制度 ・(5-4～5-7) 学生の健康管理、生活環境及び保護者・保証人との連携は、退学に至るケースも含めてそれぞれ複合的に関連しており、個々のケースごとに、職員間で最善策を話し合い対応している。 前年度退学者数 美容科1名 通信科2名（2024年3月31日現在） 今年度退学者数 美容科5名 通信科1名（2025年2月25日現在） ・(5-8) 卒業生への支援として「きららサポート」を行っている。 ・(5-8) 同窓会発足に対して、学校側として、各種規定等の整備や名簿作成などに積極的な支援を行っている。		
改善策		
・全学生との定期的な面談を継続し、進路・就職の希望、健康状態等、総合的な相談に応じながら学生をサポートする。 ・引き続き発足後の同窓会の運営を支援する。		

6. 教育環境

評価項目		評価
1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3
2	校外の実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
3	防災・安全管理に対する体制を整備しているか	4
現状分析・課題		
・(6-1) 施設設備は、経年劣化したものを中心に、予算と優先順位を考慮しながら修繕、補修または改修を行っている。 ※エアコン入替（7月・9月） エステ機器入替（9月） ・(6-1) 比較的軽微な補修は、職員において積極的に対応している。 ・(6-2) 校外の美容サロンにおいて実施する実務実習を取り入れている。 ・(6-2) 海外研修は、アンケートにより、実施の可否を判断している。 ・(6-3) 法令に則り消防計画を作成して防火管理者を定め、自衛消防隊の体制を整備している。また、学校日誌に自主検査チェックの記入欄を加えることで日常の火災予防を点検している。		
改善策		
・現在の施設設備においては、引き続き緊急度・重要度の高いものを抽出し、計画的に予算を確保できるようにする。		

7. 学生の受入れ募集

評価項目		評価
1	高等学校等直結する教育機関に対し、教育活動等の情報提供を行っているか	4
2	学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか	4
3	入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	4
4	学納金は妥当なものとなっているか	4
現状分析・課題		
・(7-1) 秋田県内全域及び周辺の県の高校を訪問して情報提供を行っている。 ・(7-3) 募集要項及び入学者選考要領を定め、適正かつ公平な基準に基づく選考を行っている。 ・(7-4) 東北地域の同分野他校と比較して、本校の学納金は妥当である。 ・(7-4) 物価の高騰により学生の教材費負担総額は増加している。		
改善策		
・秋田県内全域の高校を中心に、引き続き積極的な情報提供を行う。 ・物価高騰の影響を踏まえた上で教材費の見直しを検討する。		

8. 教育の内部保証システム

評価項目		評価
1	法令、専修学校設置基準を遵守し、適正な学校運営を行っているか	4
2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
3	自己評価、学校関係者評価の実施体制を整備しているか	4
4	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4
5	教育活動に関する情報公開を積極的に行っているか	4
現状分析・課題		
・(8-1) 自己点検を実施し、適正な学校運営に努めている。 ・(8-1) 改正私立学校法に対応して寄附行為変更の認可申請を行った。 ・(8-2) おてがるコワークドライブも活用しつつ、2025 年 2 月に UTM を設置した。 ・(8-3) 自己評価委員会及び学校関係者評価委員会を設置し、学校評価を実施している。		
改善策		
・自己点検の結果、さらに改善を進める。 ・寄附行為の変更により影響を受ける諸規程を精査し、必要な改正又は制定を進める。		

9. 財務

評価項目		評価
1	学校の中長期的な財務基盤は安定しているといえるか	3
2	予算及び収支計画は有効かつ妥当か。予算及び収支計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	4
3	財務について会計監査が適正に行われているか	4
4	私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	4
現状分析・課題		
・(9-1) 入学者定員の充足により財務基盤の改善が図られている。 ・(9-2) 予算・収支計画は、毎年度、有効かつ妥当なものとして評議員会及び理事会の承認を得ている。 ・(9-3) 私立学校法及び寄附行為に基づき適切に監査を実施し、監査報告書を提出している。 ・(9-4) 財務情報の公開について、ホームページに公開するなど積極的に取り組んでいる。		
改善策		
・引き続き入学者の定員充足を図るための取組を確立し継続する。 ・財務基盤をより安定させる為の収益事業の検討。		

10. 社会貢献・地域貢献

評価項目		評価
1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
2	地域に対する公開講座、教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4
3	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
現状分析・課題		
・(10-1) 施設利用に関する規程を定めており、学校施設の利用を希望する者に対しては、安全を確認した上で利用を許可している。 ・(10-2) 公共職業訓練（高度人材育成コース）の受託を継続しているが、今年度は定員が充足したために募集不可 ・(10-3) 学生のボランティア活動を積極的に奨励、支援している。		
改善策		
・授業への支障がない限り学校施設を地域社会に活用してもらう方針とする。 ・関係各所に対しては、引き続き公共職業訓練の受託継続の意思を示すものとする。 ・引き続き学生の安全を十分に考慮した上で各種ボランティア活動への参加・協力を促す。		